

日本社会情報学会ニュース

第 17 号 2004.2.24.

- I 2003 年度第 8 回研究大会について
 - II 2003 年度第 9 回総会について
 - (1) 一般報告
 - (2) 理事選出規則の一部改正
 - (3) 次期理事会役員を選出
 - (4) 2002 年度会計報告
 - (5) 2004 年度予算
 - (6) 2004 年度第 9 回研究大会開催校
 - III 研究会開催のお知らせ
 - IV 学会誌掲載論文の原稿募集について
 - V 会費納入のお願い
 - VI 所属・住所・mail address 変更について
 - VII 事務局から
-

I 2003 年度第 8 回研究大会について

2003 年度第 8 回日本社会情報学会は、2003 年 10 月 18 日(土)、19 日(日)の両日、熊本学園大学にて開催されました。参加者は、遠くでの開催ということもあって、例年を少し下回り 80 数名という結果でしたが、自由報告の部会は 5 教室に分かれ、両日で 23 報告、ワークショップも第 2 日目に 5 つの部会が設けられ、共に活発な議論が交わされました。また、第 1 日目のシンポジウムは、「『IT 革命と地域情報化』という主題のもと、熊本日日新聞、熊本放送ほか、地元のメディア関係者、行政関係者を招き、盛会のうちに当初の目的を果たすことができました。

さらに、特別講演には、開催校・熊本学園大学の原田正純教授をお迎えし、「水俣から学ぶものー水俣と情報」と題して、水俣病の認定に至るまでの貴重なお話を、先生の体験を交えてうかがうことができました。大会開催校をお引き受けいただいた熊本学園大学の関係者をはじめ、司会を担当して下さった会員の方々、また、学会開催にあたっての諸々の要務に適切に対応していただいた学生の皆さんに、心より感謝申し上げます。

また、大会第 1 日目に開催された懇親会には、多数の会員はもとより、熊本学園理事長北古賀勝幸先生のご参加を得て、大学経営ほか、実りある意見交換が行われました。重ねて、御礼申し上げます。

II 2003 年度第 9 回総会について

(1) 一般報告

2003 年度第 9 回日本社会情報学会総会は、10 月 18 日午後 5 時 10 分から、当日参加者 40 名、委任状 93 名の参加（合計 133 名、定足数 109 名）を得て、熊本学園大学において開催されました。高木会長の挨拶に続き、座長に、阿部理事が選出され、一般会務報告（前納理事）、学会誌編集委員会報告（音理事）、研究委員会報告（正村理事）、企画

委員会報告（田崎理事）が行われ、続いて、学会賞選考委員会（岡理事）より、2003年度の日本社会情報学会研究奨励賞についての報告が行われました。今年度の研究奨励賞は辻泉会員（松山大学）（受賞論文「携帯電話を元にした拡大パーソナルネットワーク調査の試みー若者の友人関係を中心に」、『社会情報学研究第7号』所収）に贈られることが決まり、受賞者参加のもと直ちに表彰が行われました。引き続き、次の諸点が諮られました。

(2) 理事選出規則の一部改正

理事選出規則の一部改正について、田村理事（法規委員会）より、a. 提案の内容、b. 提案の理由、c. 改正についての賛否投票の結果に関する説明と提案がなされ、原案どおり承認されました。改正された規則のみ、以下に掲載しておきます。

<p>日本社会情報学会理事選出規則</p> <p>(趣旨)</p> <p>第1条 日本社会情報学会規約第15条に基づく、会長及び副会長以外の理事（以下「理事」という。）の選出については、本規則の定めるところによる。</p> <p>(理事の数)</p> <p>第2条 理事の数は、当分の間15名以内とする。同一の大学又は研究機関から選出される理事の数は3名を限度とする</p> <p>(理事の年齢制限)</p> <p>第3条 新たに選出された理事会が発足する前年度の末日において65歳以上の会員は、理事に選出することはできない。</p> <p>(選出方法)</p> <p>第4条 総会は理事を選出する。</p> <ol style="list-style-type: none">2 理事の選出は、会員の投票ならびに理事会の推薦によるものとする。3 投票は郵送の方法により、5名連記の無記名投票とし、上位10名を当選者とする。4 理事会は、本会の学際的性格にかんがみ、研究分野、居住地域、所属大学、理事選出投票結果、年齢その他の事情を充分に考慮し、均衡のとれた理事会の構成と運営を図ることを目的として、理事候補者5名以内を総会に推薦することができる。理事会は、総会において、推薦の理由を（文書により）説明しなければならない。 <p>(理事選出管理委員会)</p> <p>第5条 理事の選出に関する事務は、理事選出管理委員会（以下「委員会」という。）がこれを行う。</p> <ol style="list-style-type: none">2 委員会の委員は3名とし、理事会がこれを指名する。3 委員会は委員長を互選する。4 理事の選出に関して生じた疑義については、委員会がこれを処理し、理事会に報告するものとする。5 委員会は、総会において理事の選出が承認された時をもって解散するものとする。 <p>附則</p> <ol style="list-style-type: none">1 本規則は、平成9年11月29日に施行し、平成9年9月6日より適用する。2 本規則は、平成15年10月18日に改正し、平成15年10月18日より適用する。 <p>.....</p> <p>日本社会情報学会理事・監事選出申し合わせ</p> <ol style="list-style-type: none">1 総会は、日本社会情報学会規約第15条に基づき、監事を選出する。2 監事の数は、当分の間2名とする。3 理事会は、監事候補者2名を推薦し、総会において推薦の理由を説明し、その承認を得なければならない。

- 4 理事候補5名以内の推薦にあたって考慮すべき地域は、北海道地域、東北信越地域、関東地域、中部北陸地域、近畿地域、中国四国地域、九州地域の7ブロックとする。

(3) 次期理事会役員を選出

2003年7月から8月にかけて実施された次期理事選出選挙の結果、ならびに、その結果を受けて実施された次期会長・副会長の選出選挙の結果、理事選出規則第4条の新規定にもとづき、次期理事会の役員が、次のとおり承認されました。

- 会 長 田崎篤郎 (立正大学)
 副会長 阿部圭一 (静岡大学)・伊藤 守 (早稲田大学)
 選出理事 長田博泰 (札幌学院大学)・音 好宏 (上智大学)・正村俊之 (東北大学)
 炭谷晃男 (大妻女子大学)・田村泰彦 (群馬大学)・西垣 通 (東京大学)
 濱田純一 (東京大学)・前納弘武 (大妻女子大学)・吉井博明 (東経大学)
 岡 隆光 (呉大学)
 推薦理事 安田孝美 (名古屋大学)・戸田光彦 (新潟大学)・小林宏一 (東洋大学)
 黒葛裕之 (関西大学)・杉山あかし (九州大学)
 監 事 林 茂樹 (中央大学)・水越 伸 (東京大学)

(4) 2002年度会計報告

2002年度の会計報告(決算)が、以下のとおり、承認されました。

2002年度決算

	2002年度 予算(a)	2002年度決算(b)	(a)-(b)
前年度繰越金	1,545,854	1,545,854	0
〈収入〉			
学会費他	3,300,000	2,699,893	△600,107
預金利子	0	2	
学会誌売上	0	12,000	
収入合計	4,845,854	4,257,749	△588,105
〈支出〉			
大会運営費	300,000	365,871	▲65,871
学会誌発行費	500,000	484,764	15,236
研究委員会	250,000	62,525	187,475
会誌編集委員会	260,000	240,870	19,130
理事会運営費	640,000	638,209	1,791
会費自動振込手数料	50,000	22,037	27,963
人件費	450,000	292,000	158,000
通信費	300,000	283,920	16,080
消耗品費	200,000	302,380	▲102,380
学会賞	150,000	0	150,000
名簿作成費	200,000	254,240	▲54,240
予備費	1,456,914	61,340	1,395,574
支出合計	4,756,914	3,008,156	1,748,758
2003年度繰越金	—	1,267,593	—

(6) 2004 年度第 9 回研究大会開催校について

昨年の総会では、2004 年度研究大会の開催校として、名古屋大学にお引き受けいただく旨お知らせいたしました。大会開催の時期が校舎建替え工事と重なる恐れが出てきましたので、名古屋大学には工事完了後にお問い合わせすることとし、新たに、開催校の選定を検討することとなりました。

III 研究会のお知らせ

3 月初旬から中旬にかけて、以下の 3 つの研究会が開催されます。会員の皆様、奮ってご参加ください。



[1] 日本社会情報学会公開研究会

3月5日(金) 10:30-13:00

「コミュニケーション研究の今日的課題—フランス、日本の学問状況から」

日本社会情報学会主催の研究会を、今回は「日本社会情報学会公開研究会」として、フランスの研究者との共同研究会というかたちで開催します。多くの会員の御参加を期待します。当日は、日本とフランスのコミュニケーション研究の現状と今日的課題について4人の方から報告していただき、情報化に伴う社会的コミュニケーション過程の変化をどう見るか、突っ込んだ議論を行う予定です。

報告者 ジャン・ラガーヌ(プロヴァンス大学)

石田英敬(東京大学)

田畑暁生(神戸大学)

水島久光氏(東海大学)

司会 伊藤 守(早稲田大学)

時間 3月5日(金) 10:30-13:00

場所 明治学院大学白金校舎アートホール

最寄り駅:都営バス 明治学院前 (目黒駅または品川駅より)

下記駅より徒歩7分程度

営団地下鉄南北線 白金台駅または白金高輪駅

都営地下鉄浅草線 高輪台駅

<http://www.meijigakuin.ac.jp/access/index.html>

● なお、当日は、明治学院大学教養教育センター主催の講演会も開催される予定です。公開研究会と合わせて、御参加ください。

教養教育センター主催 講演会

場所 明治学院大学白金校舎アートホール

時間 15:30-17:00

講演者 ジャン・ラガーヌ(プロヴァンス大学)

石田英敬(東京大学)

■■■
[2] 第1回 日本社会情報学会合同研究会

3月6日(土) 15:00-18:30

統一テーマ「今日的課題としての社会情報学」
■■■

我が国には「日本社会情報学会」という同一名称の学会が二つあり、両学会はこれまで独立に活動を続けてきました。しかし、社会情報学の確立・発展を目指すという点では共通の目標をもっています。情報化が進展している今日、情報にかかわる諸問題を多角的な視点から考察することは、現代社会の解明にとって不可欠な課題となっています。社会情報学がこの課題にこたえるためには二つの学会のあいだで研究交流をはかることが必要であるように思われます。

そこで両学会の研究交流の一環として、このたび合同研究会を開催することになりました。第1回合同研究会は、「今日的課題としての社会情報学」というテーマで開催いたします。学会が発足して以来、二つの学会は、それぞれ社会情報学の課題や方法に関する検討を行ってきました。その成果の一端は、遠藤薫編著『環境としての情報空間』や、伊藤守・小林宏一・西垣通・林利隆・正村俊之編著『シリーズ 社会情報学への接近』に示されています。今回の合同研究では、このような研究成果を踏まえながら社会情報学のあり方を問い直し、社会情報学は何を目指すべきかを検討したいと思います。皆様どうぞ奮って参加下さい。

副会長・学術委員長

遠藤薫

理事・研究会委員長

正村俊之

記

第1回合同研究会:統一テーマ「今日的課題としての社会情報学」

日時 2004年3月6日(土) 15時から18時30分まで

場所 早稲田大学教育学部 16号館6階605

(詳しくは <http://www.waseda.ac.jp/schl/edu/> をご覧ください。)

報告者 西垣 通(東京大)

伊藤守(早稲田大)

広松毅(東京大)

木村忠正(早稲田大)

司会 遠藤薫(学習院大)

正村俊之(東北大)

■■■
[3] 2003年度第2回日本社会情報学会北海道地区研究会

3月17日(水) 13:30-16:30
■■■

テーマ:「マイクロ・マクロ過程としての文化」

講師 北海道大学大学院文学研究科 山岸 俊男 氏

日時 2004年3月17日(水) 13:30~16:30

場所 札幌学院大学G館5階特別会議室

要旨 現代の社会科学は、20世紀後半を支配したタブラサ神話のくびきを脱し、新たな科学的発展を開始している。北海道大学に設置された21世紀 COE「心の文化・生態学的基盤」研究センターは、心は社会環境への適応の道具であるとする観点から心と社会制度との相互構成関係を分析することで、新しい社会科学の基盤となる人間性理解を提供することを目的としている。

主な著作

『社会的ジレンマの仕組み』サイエンス社

『信頼の構造』東大出版会

『安心社会から信頼社会へ』中公新書

『社会的ジレンマ「環境破壊」から「いじめ」まで』PHP新書

“Social Dilemmas”Pergamon Press (共著)ほか

山岸研究室 <http://lynx.let.hokudai.ac.jp/members/yamagishi/yama1.htm>

COEプログラムサイト <http://lynx.let.hokudai.ac.jp/COE21/>

COEプログラムの名称は、「21世紀COE 心の文化・生態学的基盤」で、代表者は、今回の講師の山岸俊男氏です。

IV 学会誌『社会情報学研究』（第8巻第2号）の原稿募集

学会誌『社会情報学研究』第9巻第1号の原稿を募集しております。原稿の送り先ほか、詳細は、次号の「学会ニュース」でお知らせいたします。なお、投稿要領、論文執筆の手引き等については、本学会 Web ページ(<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jsis>)をご覧ください。

V 会費納入のお願い

このところ、会費納入の状況が芳しくありません。2003年度の会費未納の方は、できるだけ年度内に納入いただきますようお願いいたします。また、2002年度分以前についても、未納の方がいらっしゃいます。同じく、年度内に、納入いただきますようお願いいたします。今回は、同封の用紙で各会員の2月20日時点での会費納入状況をお知らせしています。既にお支払いの場合にはどうぞお許し下さい。また、学会では会費の「銀行口座自動引き落としサービス」も行っています。ご希望の方は、事務局までご連絡下さい。

VI 所属・住所・mail address の変更について

3月、4月は異動の季節です。所属、住所が変わられた際には、事務局までお知らせ下さい。また、メールでも随時さまざまな情報を配信していますが、メールが届かない方は改めて mail address をお届け下さるようお願いいたします。

VII 事務局から

本号では、昨年10月18、19の両日に開催されました第8回研究大会、ならびに、第9回総会での承認事項を中心に編集いたしました。4月以降の新年度からは、「理事選出規則の一部改正」にもとづき、新たな理事会体制が発足いたします。本号にも、お知らせしましたように、各種研究会の開催状況をみましても、「社会情報学」ならびに「日本社会情報学会」をめぐる状況は、設立後ほぼ10年を経過して、確実に新しい段階に歩を進めつつあるように思います。

新体制のもと、ますますの発展を期したいと思います。

なお、なんなりとご意見がございましたら、以下のアドレスまでお寄せいただきますようお願いいたします。

日本社会情報学会事務局 〒206-8540 東京都多摩市唐木田2丁目7番地1号

大妻女子大学社会情報学部内

TEL:042-339-0056-0071-0036

FAX:042-339-0044-0056

e-mail : s-info@otsuma.ac.jp

URL : <http://wwwsoc.nii.ac.jp/jsis/>

